

Useful day

SANYO News Letter

ステープル機能使ってますか？

プリンターにおけるステープルは複数枚を自動でホッチキス留めする事です。

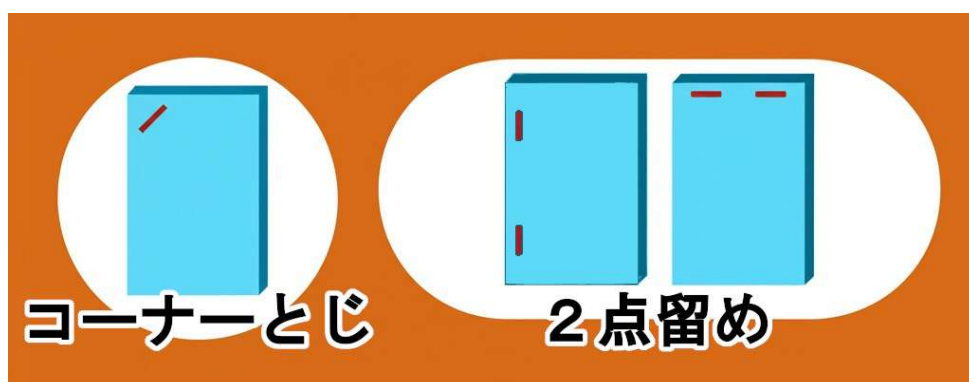
角1点だけを留めるコーナー綴じ

長辺/短辺を留める2点留めなど位置を指定する事が出来ます。

単に資料をまめとるだけでなく、冊子のように中綴じする事も可能です。

最近では5枚程度であれば針を使用せずに圧力だけで綴じる事も可能になっています。衛生面を気にせざるを得ない環境や、後にシュレッターにかける際に針を外す必要が無い等のメリットもあります。

ステープル機能を使用するにはフィニッシャーを取り付けないと使用できません。どんなプリンターでもステープル出来るかと言われたらそうではないのです。



岡山本社

TEL086-273-6300

FAX086-273-1811

倉敷支店

TEL086-424-3400

FAX086-424-3407

こんなシーンで活用

- ・会議資料・お客様への提出など複数部の資料が多い
- ・ホッチキスなど後処理に割く人手が足りない
- ・毎回同じ位置で綴じたい

などなど他にも出てきそうです。

定期的に印刷している資料があれば作業効率が上がりますね。

フィニッシャー紹介

・インナーフィニッシャー

→本体内部に取り付けるためプリンターの設置面積が変わりません。

→価格も低いので印刷枚数が少ない場合に適しています

→機能は限定されます+速度も落ちます

・サドルフィニッシャー

→プリンターの側面に取り付けます

→印刷速度も速く、インナーフィニッシャーより綴じれる枚数も多いです

→折りやパンチ機能を備えたモデルもある

→導入価格が高く、設置場所も広がります



どっちを選べばいいの？

・インナーフィニッシャー→月間の印刷枚数が比較的少ない。ステープル作業の自動化を考えている

・サドルフィニッシャー→毎日のように冊子作成作業がある。折りや中綴じ機能も欲しい

最後に、金額はメーカーによって違いますので担当にお問い合わせ下さい

価格にかなり違いがある分、用途をしっかりと考えて選ぶ必要があります。困ったら相談してください。

今、手作業でホッチキス留めしている場合の時間と手間を検討するのも大切な事です。機械に出来る事なら任せてしまえば、その分他に時間を使えますね。

弊社ではデモンストレーションや機械の貸出しも行っております。体験してみたいと思われたならぜひ一度声を掛けてみてください。

社員紹介

本社技術部所属 山内 一直

経歴と担当エリア

- ・ 1960年4月23日生 岡山県出身
- ・ 東岡山工業高校卒
- ・ 1979年入社 本社技術部配属
- ・ 赤磐市を中心とした東部エリア

これまでの振り返って

・ 人生の7割強を山陽事務機株式会社の社員として勤めあげる事が出来たのは、弊社役員、諸先輩方・同僚・後輩の方々の温かく力強い支えによるものでしかありません。今後も山陽事務機らしく成長することを祈っています。
本当に感謝しております。有難うございました。

今年、定年を迎える技術部員を紹介させていただきます。
長きに渡り活躍された事に心からの敬意とお祝いを申し上げます

お客様へ

・ 弊社は県全域のお客様に長年お付き合い頂いています。

私は新庄村、川上村、八束村、中和村、富村、上齋原村、阿波村、奈義町、西栗倉村、神島、高島、白石島、北木島、真鍋島、六口島、犬島、鹿久居島（旧名記載有り）へ訪問出来なかった事は残念です。

様々な地域の皆様に大変お世話になり成長させて頂きました。有難うございます。

岡山県を地元として一会社でのお客様への販売・メンテナンスサポートを一環として提供させて頂いている会社は少なくなっていますが、弊社は現体制を維持成長させていき、今後もお客様のご要望にお応えできる組織を存続させていきます。

これからも変わらぬ支援を賜りますようお願い申し上げます。本当にお世話になりました。引き続き、山陽事務機をよろしくお願い致します。

ありがとう

「愛」の反対語は「無関心」
では、「ありがとう」の反対語を知っていますか？

「あたりまえ」

「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」「有難し」。すなわち、あることが難しい、稀であるという事になり、更に「奇跡」とも解釈が取れる。その奇跡の反対は「当然」「当たり前」になる。

哲学の話をするわけではないのです。

我々は日々を当たり前と思い過ごしている。

歩けるのが当たり前。

目が見え、耳が聞こえるのが当たり前。

手足が動くのも、朝目覚めるのも、食事が出来るのも当たり前。

友達と会えるのも当たり前。太陽が昇り沈むのも当たり前。

家族が帰ってくるのが当たり前。

生きていく事が当たり前……

本当に？

なぜあの時、途中まで一緒に帰らなかったのか。

なぜあの時、優しい言葉をかけてあげられなかったのか。

なぜあの時、逢わせてあげなかったのか。

後悔先に立たず……そう、事が済んでしまえば、どんなに悔やんでも仕方がないのです。

誰しもが今日と変わらぬ明日が来ると思っている。繰り返されると思っている。

今日、誰かと出会い、話をして、笑いあい、食事をして、仕事

が出来る。

こんな当たり前だと思っている事が奇跡の連続なのではないか。

「有ること難し」

この奇跡の連続に「ありがとう」を言わずにいられない。

だからこそ、今日を明日を今を感謝して生きていきたい。

今日は誰に、何に「ありがとう」を言いましたか？

山陽事務機
湯浅



←バックナンバーはこちらから閲覧できます